

放課後子ども教室の報告

近年、子ども達は直接的な体験の機会が少なくなっていると言われていいます。変化していく社会の中で、子ども達が生き抜く力を育てるためには、異学年や地域の大人と交流しながら様々な体験をすることが必要です。

そのために行っている事業の1つが「放課後子ども教室(各地区平日開催)」です。

◆放課後子ども教室(各地区平日開催)とは

平日の放課後の時間、地域の大人が指導者となり子ども達に様々な体験活動の機会を提供する事業です。



◆なぜ放課後子ども教室が始まった？

長井市では児童の約3割が学童クラブを利用しています。「学童クラブに通っている子と通っていない子が放課後に遊ぶ場が無い」「家に帰っても近所に遊ぶ子どもがいない」といった声を受け、平成27年度から市全体で放課後子ども教室(各地区平日開催)に取り組んでいます。

H31. 4. 1現在、長井市内の小学生1,242名に対して382名の児童が学童クラブを利用しています(約30%)。1～3年生に限れば、小学生625名に対して293名の児童が学童クラブを利用しています(約46%)。

◆長井市の体制について

コーディネーターという役割を各地区1～2名の方をお願いしています。その方が中心となって地域の指導者を集め、活動を企画・運営していただいています。また、PTA や子ども会、地区長会など様々な団体と協議の場を持ち、地区のコミュニティセンターや学校にご協力いただきながら実施しています。

◆Q&A

①学童クラブとの違いは？ ⇒役割と頻度が異なります。

学童クラブ：留守家庭のお子さんの生活の場(学校のある日は開所)

放課後子ども教室：全ての児童の学びと交流の場(月1回程度)

②参加したい時は？

各回開催の1～2週間前にチラシが配られます。チラシに記載の方法でお申し込みください。

「やんちゃ放課後ひろば」について

中央地区コーディネーター 八木賢二 横山千恵子

1. 地域の中での「やんちゃ放課後ひろば」の目的

授業が終わったら何をして過ごしている？塾、勉強、ゲーム、遊びは誰と？
最近の傾向として、子ども達同士で遊ぶことが減っているのではないのでしょうか。
そして学年を越えた高学年と低学年の交流が減ってきていると思います。
月1回でも良いから、平日の放課後に皆が集まって遊ぼうではないか。そんな考えのもとに活動しています。多くの子どもが参加できるような体制を作ろうと努力しています。

※中央地区では「やんちゃ放課後ひろば」という名称で放課後子ども教室を開催しています。

2. 「やんちゃ放課後ひろば」の概要

- 開催日 月1回の主に第3水曜日（一斉下校の日）
※月によっては変更あり
- 会場 長井小学校の体育館やミーティングルーム
コミュニティセンターなど
- 時間 放課後の午後3時30分頃～4時30分頃
（冬期間は変更）
- 対象者 長井小学校の全校生
（学童クラブ利用者を含む）…申込制
- 終了後 下校または学童クラブへ



3. 「やんちゃ放課後ひろば」のいままで(回顧録)

当初は手探り状態で何をどのように進めて行けば良いか分かりませんでした。そこで当時の中央地区公民館(現：中央コミュニティセンター)のご協力のもと公民館の事業を参考にさせてもらい、それらをベースにして、始めることにしました。特に皆が一緒に楽しめる活動を主として進めてきました。これまでの活動を下記に列記してみます。農業体験（田植え、稲刈り、収穫祭）・運動体験（おにごっこ、ドッチボール、水遊び）・福祉体験（点字、白杖体験等）・ニュースポーツ(マルチキャタピラー、ターゲットボード等)

4. 現在の運営での課題と今後どんなふうに進めていきたいか感じている事

安心・安全な活動を行うことが、何よりも大事ないちばんの課題です。そのためには、より多くの地域の方々の協力(特に見守りスタッフ)が必要となります。また、学校や学童クラブ、そして何より、保護者の方々にご理解とご協力いただくことがますます重要となります。その上で、子ども達がより多くの体験ができ、楽しくすごせる活動にしていきたいと思っています。

5. やりがいだと思っていること

I. コーディネーター

沢山参加してくれた時。
子ども達が元気に動き回っている様子を見る時。
大きな子が小さい子の面倒を見ている光景が見られる時。
小さい子が悪さをした時叱っている大きい子を見る時。



II. スタッフ

見守りスタッフを始めたのは、友達と過ごす我が子が見られるからでしたが、回を重ねていくにつれ、参加しているいろんな学年の子どもたちとのふれあいはもちろん、他のスタッフの方々との「多世代交流、できることが毎回の楽しみであり、やりがいにもなっています。

中央コミュニティセンター運営協議会 梅津順子さん

初めて参加させて頂いた時から3年が経ちました。子どもの3年の成長はとても目覚ましいものです。どんどん大きく成長していく子ども達の姿を見ると胸が熱くなります。放課後の特別な時間を子ども達は嬉しそうでわくわくし元気いっぱいです。その素直な心を感じながら一緒に活動できる時間は私の宝物になりました。これからも子ども達と貴重な時間をたくさん共有していきたいです。

見守りボランティアスタッフ 中川奈保子さん

6. 各学校・コミュニティセンターなどから一言

やんちゃ放課後は楽しかった。
ドッチボールが一番楽しかった。
長小5年 佐藤花梨さん

5月から2月まで毎月1回、放課後の時間に、1年生から6年生までの異年齢の子ども達が、思いっきり楽しんでいる姿に、いつも自然に笑みがこぼれました。コーディネーターはじめ、事業を支援くださった皆さんに、衷心より感謝と御礼を申し上げます。

中央コミュニティセンター館長 東海林和夫さん

7. コーディネーターから地域の方をお願いしたいこと

新しい企画の提案やそれを指導して頂ける方がいらっしやればたいへん嬉しいです。そして活動を温かく見守っていただけの方をお待ちしております。



中央地区

5月田植え体験・9月稲刈り体験（レインボーラン市民農場）、福祉体験（社会福祉協議会）、ニュースポーツ体験（花のまちスポーツクラブ）など、市内団体にも協力いただきながら活動を行っています。多い時には100名近くが参加するため、参加者全員が安全に、楽しく活動行えるように工夫して取り組んでいます。

平成27年度

ドッジボールや福祉体験、
おにごっこなど9回実施
参加者延べ408名

平成30年度

福祉体験、おにごっこ、
ドッジボールなど10回実施
参加者延べ528名

平成28年度

田植え、ニュースポーツ、
ドッジボールなど10回実施
参加者延べ462名

令和元年度

ドッジボールや工作、
ニュースポーツなど10回実施
参加者延べ507名

平成29年度

稲刈り、おにごっこ、
輪投げなど10回実施
参加者延べ389名



お問い合わせ先：

長井市教育委員会文化生涯学習課 生涯学習係

電話：0238(84)7677

FAX：0238(88)5883